

野村世界高格付債券投信 (年2回決算型)

運用報告書(全体版)

第20期(決算日2018年11月19日)

作成対象期間(2018年5月19日～2018年11月19日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/債券	
信託期間	2008年12月19日以降、無期限とします。	
運用方針	野村世界高格付債券投信マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主として世界各国の信用力の高い債券に投資し、安定した利子収益の確保に加え、中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行うことを基本とします。実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主な投資対象	野村世界高格付債券投信(年2回決算型)	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、債券に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	世界各国の信用力の高い債券を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村世界高格付債券投信(年2回決算型)	外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益等から、利子・配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク FTSE世界国債インデックス (含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配	み 金 騰 落	期 騰 落	中 期 騰 落			
	円	円	%		%	%	%	百万円
16期(2016年11月18日)	13,672	10	△2.5	134.14	△3.3	85.4	△24.4	169
17期(2017年5月18日)	13,949	10	2.1	138.60	3.3	92.1	△22.1	172
18期(2017年11月20日)	14,298	10	2.6	143.43	3.5	92.6	△25.1	167
19期(2018年5月18日)	14,130	10	△1.1	141.09	△1.6	87.2	△29.0	164
20期(2018年11月19日)	14,052	10	△0.5	140.92	△0.1	87.8	△34.0	153

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*FTSE世界国債インデックス（含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックス（為替ヘッジを行わない円ベースの指数）です。円換算には、原則として国内投資信託の基準価額算出に使用する為替レートを使用しています。なお、設定時を100として指数化しています。

*FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(出所) FTSE Fixed Income LLC

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		ベンチマーク FTSE世界国債インデックス (含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期首)	円	%		%	%	%
2018年5月18日	14,130	—	141.09	—	87.2	△29.0
5月末	13,869	△1.8	138.97	△1.5	85.7	△24.7
6月末	14,031	△0.7	140.63	△0.3	84.6	△30.8
7月末	14,119	△0.1	141.40	0.2	85.1	△37.8
8月末	14,000	△0.9	141.15	0.0	86.7	△38.9
9月末	14,303	1.2	142.99	1.3	85.9	△26.0
10月末	14,094	△0.3	140.92	△0.1	86.6	△20.3
(期末) 2018年11月19日	14,062	△0.5	140.92	△0.1	87.8	△34.0

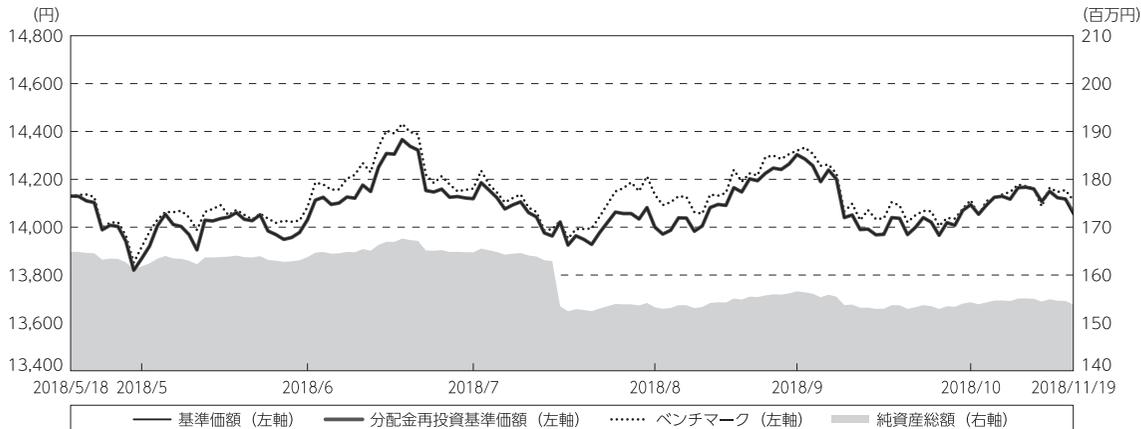
*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：14,130円

期 末：14,052円（既払分配金（税込み）：10円）

騰落率：△0.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2018年5月18日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用）です。ベンチマークは、作成期首（2018年5月18日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首14,130円から期末には14,052円となりました。当期は、10円の分配金をお支払いしましたので、分配金を考慮した値下がり額は68円となりました。

（上昇）期を通じて、安定的に債券の利息収入を得られたこと。

（上昇）ドイツの債券利回りが低下（価格は上昇）したこと。

（下落）為替市場におけるユーロの円に対する下落（円高）。

（下落）イタリアやスペインなどの欧州周縁国の債券利回りが上昇（価格は下落）したこと。

○投資環境

債券市場<国債利回りは米国で横ばい、ドイツで低下、日本で上昇>

米国市場では、雇用や物価などの経済指標が堅調に推移し、FRB（米連邦準備制度理事会）は6月、9月に政策金利の引き上げを行なったものの、イタリアにおける政治的不透明感の高まりなどを受けて、安全資産としての需要が高まったことで、期を通じてみると債券利回りはほぼ横ばいとなりました。

欧州では、ユーロ圏の景況感を表す指標に低下がみられたほか、イタリアが予算案を巡ってEU（欧州連合）と対立するなど、政治的不透明感が高まったことを受けて、ドイツの債券利回りは低下しました。

日本では、日銀が金融政策決定会合にてイールドカーブコントロール政策の下での10年債利回りの変動幅拡大を示したことで、債券利回りは上昇しました。

為替市場<円に対して米ドルは上昇、ユーロは下落>

米国の堅調な経済指標やFOMC（米連邦公開市場委員会）を受けて、米国の利上げペースの加速が意識されたことから、米ドルは円に対して上昇（円安）しました。

ユーロ圏の景況感を表す指標などが低下したことや、イタリアにおける政治的不透明感の高まりなどを背景に、ユーロは円に対して下落（円高）しました。

○当ファンドのポートフォリオ

【野村世界高格付債券投信（年2回決算型）】

期を通じて、野村世界高格付債券投信マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、組入比率を高位に維持しました。

【野村世界高格付債券投信マザーファンド】

<ファンド・デュレーション（※1）>

ファンド全体のデュレーションは前期末から短期化しました。期末において、ファンド全体のデュレーションはベンチマークに対して短期化としました。

（※1）デュレーションは、債券の利回り変化に対する価格変化の感応度を表し、数値が大きいほど利回り低下時の価格上昇率が大きくなり、利回り上昇時には価格下落率が大きくなります。

<為替のエクスポージャー（※2）>

期末において、外貨エクスポージャーの内訳は、ベンチマークに比べ欧州通貨の比率を少なめ、米ドルと日本円の比率を多めとしました。

（※2）為替エクスポージャーとは、外国債券を中心とした外貨建資産に、為替予約等を含めた実質的な通貨配分の純資産額に対する比率のことです。比率が高い通貨が上昇した際には為替差益が、下落した際には為替差損が発生しやすくなります。

○当ファンドのベンチマークとの差異

基準価額の騰落率※は-0.5%となり、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用）の-0.1%を0.4ポイント下回りました。

※基準価額の騰落率は、分配金（税込み）込みで算出しております。

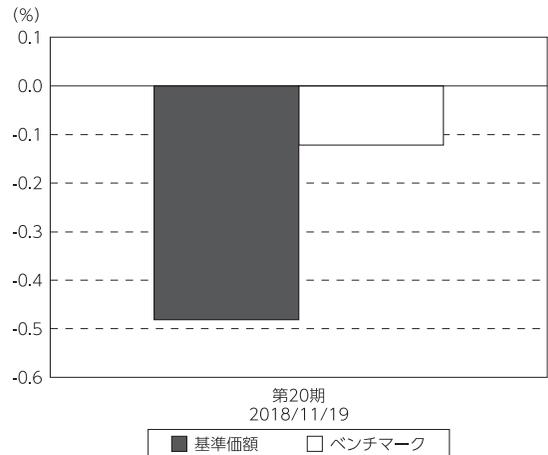
（主なプラス要因）

欧州通貨が円や米ドルなどに対して下落する局面で、ベンチマークに比べ欧州通貨の比率を引き下げ、米ドルや円の比率を引き上げていたこと。

（主なマイナス要因）

イタリアなどの欧州周縁国の利回りが上昇する局面で、ベンチマークに比べイタリアのデュレーションを長期化としていたこと。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用）です。

◎分配金

当期の収益分配金は、基準価額水準等を勘案し、経費控除後の利子・配当等収益等から次表の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第20期
	2018年5月19日～ 2018年11月19日
当期分配金	10
（対基準価額比率）	0.071%
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,214

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

[野村世界高格付債券投信（年2回決算型）]

主要投資対象である野村世界高格付債券投信マザーファンド受益証券を高位に組み入れ、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をはかります。

[野村世界高格付債券投信マザーファンド]

引き続き信託財産の成長を目標として積極的な運用を行ないます。債券への投資にあたっては、主として信用力の高い世界の主要国の国債等（国債、地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行ないます。国別配分・通貨配分、デュレーションの水準等については、投資対象国・地域等のファンダメンタルズ分析や市場分析等に基づいて決定します。

米国について、景気回復が継続し、FRB（米連邦準備制度理事会）が継続的な金融引き締めを行なうと想定していることから、債券利回りは上昇圧力がかかりやすいと予想します。欧州では、ECB（欧州中央銀行）による金融緩和姿勢が後退していくことを見込んでいるものの、政策金利の引き上げにはまだ時間がかかると想定していることから、債券利回りは横ばい圏で推移すると予想します。日本では、今後も緩和的な日銀の金融政策が債券相場を下支えすると見込んでおり、債券利回りは低水準で推移すると予想します。

ファンド全体のデュレーションはベンチマーク対比で、全体は短期化とし、地域別では米国を短めとします。為替エクスポージャーは、欧州通貨の比率を引き下げ、米ドルや日本円の比率を引き上げる方針です。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、よろしく願いいたします。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2018年5月19日～2018年11月19日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 81	% 0.575	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(39)	(0.274)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(39)	(0.274)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(4)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.007	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 先 物 ・ オ プ シ ョ ン ）	(1)	(0.007)	
(c) そ の 他 費 用	4	0.030	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(4)	(0.026)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.003)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	86	0.612	
期中の平均基準価額は、14,069円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年5月19日～2018年11月19日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
野村世界高格付債券投信マザーファンド	千口 64	千円 100	千口 7,046	千円 11,100

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2018年5月19日～2018年11月19日)

利害関係人との取引状況

<野村世界高格付債券投信（年2回決算型）>
該当事項はございません。

<野村世界高格付債券投信マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
			B/A			D/C
公社債	百万円 503	百万円 —	% —	百万円 494	百万円 11	% 2.2
為替先物取引	3,679	76	2.1	3,685	55	1.5
為替直物取引	158	55	34.8	173	77	44.5

平均保有割合 25.8%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社、野村信託銀行です。

○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2018年5月19日～2018年11月19日)

期首残高 (元 本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 (元 本)	取引の理由
百万円 100	百万円 —	百万円 —	百万円 100	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2018年11月19日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村世界高格付債券投信マザーファンド	千口 103,421	千口 96,439	千円 153,522

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2018年11月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
野村世界高格付債券投信マザーファンド	千円 153,522	% 99.1
コール・ローン等、その他	1,364	0.9
投資信託財産総額	154,886	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*野村世界高格付債券投信マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（419,493千円）の投資信託財産総額（612,548千円）に対する比率は68.5%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=112.73円、1カナダドル=85.67円、1英ポンド=144.62円、1スウェーデンクローナ=12.51円、1ユーロ=128.61円、1ズロチ=29.81円、1シンガポールドル=82.09円、1リンギ=26.93円、1豪ドル=82.50円、1メキシコペソ=5.59円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2018年11月19日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	154,886,691
コール・ローン等	1,364,053
野村世界高格付債券投信マザーファンド(評価額)	153,522,638
(B) 負債	1,025,499
未払収益分配金	109,492
未払信託報酬	914,316
未払利息	2
その他未払費用	1,689
(C) 純資産総額(A-B)	153,861,192
元本	109,492,365
次期繰越損益金	44,368,827
(D) 受益権総口数	109,492,365口
1万円当たり基準価額(C/D)	14,052円

(注) 期首元本額は116,664,210円、期中追加設定元本額は50,421円、期中一部解約元本額は7,222,266円、1口当たり純資産額は1,4052円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額155,538円。(野村世界高格付債券投信マザーファンド)

○損益の状況（2018年5月19日～2018年11月19日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 209
支払利息	△ 209
(B) 有価証券売買損益	161,409
売買益	249,276
売買損	△ 87,867
(C) 信託報酬等	△ 916,005
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 754,805
(E) 前期繰越損益金	39,189,028
(F) 追加信託差損益金	6,044,096
(配当等相当額)	(7,106,816)
(売買損益相当額)	(△ 1,062,720)
(G) 計(D+E+F)	44,478,319
(H) 収益分配金	△ 109,492
次期繰越損益金(G+H)	44,368,827
追加信託差損益金	6,044,096
(配当等相当額)	(7,106,918)
(売買損益相当額)	(△ 1,062,822)
分配準備積立金	49,988,164
繰越損益金	△11,663,433

* 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2018年5月19日～2018年11月19日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2018年5月19日～ 2018年11月19日
a. 配当等収益(経費控除後)	760,280円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	7,106,918円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	49,337,376円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	57,204,574円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	5,224円
g. 分配金	109,492円
h. 分配金(1万円当たり)	10円

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	10円
-----------------	-----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

野村世界高格付債券投信 マザーファンド

運用報告書

第10期（決算日2018年11月19日）

作成対象期間（2017年11月21日～2018年11月19日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した利子収益の確保に加え、中長期的な値上がり益の獲得を旨として運用を行うことを基本とします。 ①債券への投資にあたっては、主として信用力の高い世界の主要国の国債等（国債、地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行います。なお、主要国以外の国債等に投資する場合があります。 ②国別配分・通貨配分、デュレーションの水準等については、投資対象国・地域等のファンダメンタルズ分析や市場分析等に基づいて決定します。 ③通貨配分については、原則として為替予約取引等を用いて債券の国別配分とは独立した通貨配分を行います。 ④ポートフォリオのデュレーションのコントロール等のために、債券先物取引等のデリバティブを活用する場合があります。
主な投資対象	世界各国の信用力の高い債券を主要投資対象とします。
主な投資制限	外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。 デリバティブの利用はヘッジ目的に限定しません。 外国為替予約取引はヘッジ目的に限定しません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク FTSE世界国債インデックス (含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用)		債組入比率	債券先物比率	純資産額
	騰落	中率	騰落	中率			
	円	%		%	%	%	百万円
6期(2014年11月18日)	15,488	19.0	143.10	14.8	92.3	△20.2	633
7期(2015年11月18日)	16,048	3.6	144.20	0.8	93.9	△23.0	650
8期(2016年11月18日)	15,094	△5.9	134.14	△7.0	85.5	△24.5	606
9期(2017年11月20日)	15,992	5.9	143.43	6.9	92.8	△25.2	627
10期(2018年11月19日)	15,919	△0.5	140.92	△1.7	88.0	△34.1	608

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*FTSE世界国債インデックス(含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用)*は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている世界主要国の国債の総投資収益を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックス(為替ヘッジを行わない円ベースの指数)です。円換算には、原則として国内投資信託の基準価額算出に使用する為替レートを使用しています。なお、設定時を100として指数化しています。

*FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

※名称変更しております(旧名称はシティ世界国債インデックス(含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用))。
(出所) FTSE Fixed Income LLC

○当期中の基準価額と市況等の推移

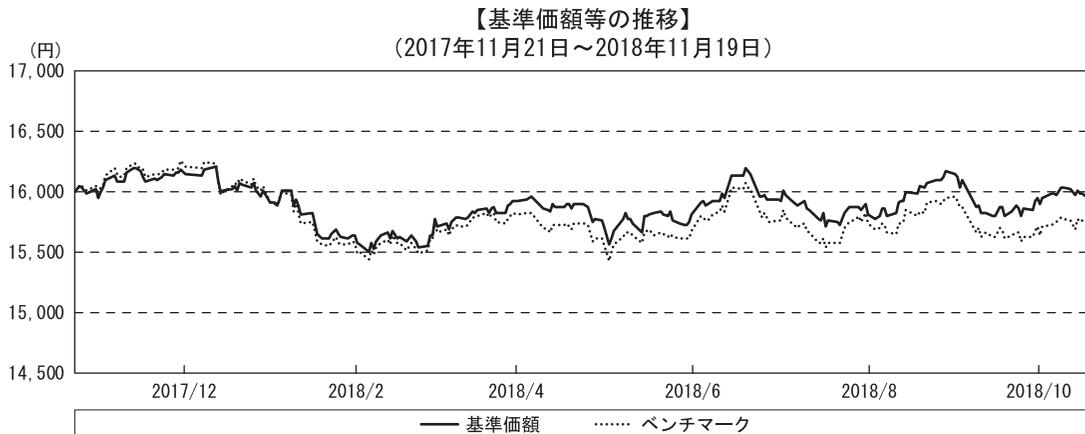
年月日	基準価額		ベンチマーク FTSE世界国債インデックス (含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用)		債組入比率	債券先物比率
	騰落	率	騰落	率		
(期首)	円	%		%	%	%
2017年11月20日	15,992	—	143.43	—	92.8	△25.2
11月末	16,029	0.2	143.91	0.3	93.9	△25.2
12月末	16,151	1.0	145.39	1.4	93.7	△26.3
2018年1月末	15,889	△0.6	142.44	△0.7	88.9	△34.1
2月末	15,641	△2.2	139.66	△2.6	81.9	△15.4
3月末	15,714	△1.7	140.47	△2.1	89.6	△33.6
4月末	15,924	△0.4	141.80	△1.1	92.5	△29.1
5月末	15,615	△2.4	138.97	△3.1	85.9	△24.7
6月末	15,813	△1.1	140.63	△1.9	84.8	△30.9
7月末	15,928	△0.4	141.40	△1.4	85.3	△37.9
8月末	15,809	△1.1	141.15	△1.6	86.9	△39.0
9月末	16,166	1.1	142.99	△0.3	86.1	△26.1
10月末	15,946	△0.3	140.92	△1.7	86.8	△20.4
(期末)						
2018年11月19日	15,919	△0.5	140.92	△1.7	88.0	△34.1

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用）です。作成期首の値が基準価額と同一になるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首15,992円から期末には15,919円となり、73円の値下がりとなりました。

(上昇) 期を通じて、安定的に債券の利息収入を得られたこと。

(下落) 為替市場におけるユーロの円に対する下落（円高）。

(下落) 米国の債券利回りが上昇（価格は下落）したこと。

○当ファンドのポートフォリオ

<ファンド・デュレーション^(※1)>

ファンド全体のデュレーションは期首から期末にかけ、長期化しました。期末において、ファンド全体のデュレーションはベンチマークに対して短期化としました。

(※1) デュレーションは、債券の利回り変化に対する価格変化の感応度を表し、数値が大きいほど利回り低下時の価格上昇率が大きくなり、利回り上昇時には価格下落率が大きくなります。

<為替のエクスポージャー^(※2)>

期末において、外貨エクスポージャーの内訳は、ベンチマークに比べ欧州通貨の比率を少なめ、米ドルと日本円の比率を多めとしました。

(※2) 為替エクスポージャーとは、外国債券を中心とした外貨資産に、為替予約等を含めた実質的な通貨配分の純資産額に対する比率のことです。比率が高い通貨が上昇した際には為替差益が、下落した際には為替差損が発生しやすくなります。

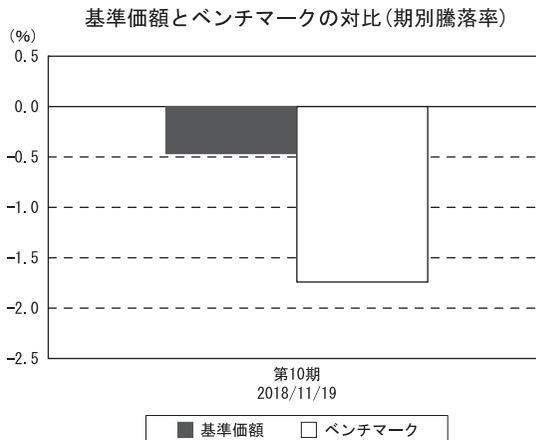
○当ファンドのベンチマークとの差異

基準価額の騰落率は-0.5%となり、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用）の-1.7%を1.2ポイント上回りました。

（主なプラス要因）

金利の上昇局面でファンドのデュレーション（金利感応度）をベンチマークに比べて短期化していたこと。

欧州通貨が米ドルに対して下落する局面で、米ドルの比率を多め、欧州通貨を少なめとしていたこと。



（注）ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（含む日本、ヘッジなし・円ベース、国内投信用）です。

◎今後の運用方針

引き続き信託財産の成長を目標として積極的な運用を行ないます。債券への投資にあたっては、主として信用力の高い世界の主要国の国債等（国債、地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行ないます。国別配分・通貨配分、デュレーションの水準等については、投資対象国・地域等のファンダメンタルズ分析や市場分析等に基づいて決定します。

米国について、景気回復が継続し、FRB（米連邦準備制度理事会）が継続的な金融引き締めを行なうと想定していることから、債券利回りは上昇圧力がかかりやすいと予想します。欧州では、ECB（欧州中央銀行）による金融緩和姿勢が後退していくことを見込んでいるものの、政策金利の引き上げにはまだ時間がかかると想定していることから、債券利回りは横ばい圏で推移すると予想します。日本では、今後も緩和的な日銀の金融政策が債券相場を支えると見込んでおり、債券利回りは低水準で推移すると予想します。

ファンド全体のデュレーションはベンチマーク対比で、全体は短期化とし、地域別では米国を短めとします。為替エクスポージャーは、欧州通貨の比率を引き下げ、米ドルや日本円の比率を引き上げる方針です。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年11月21日～2018年11月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	円 2 (2)	% 0.014 (0.014)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	8 (7) (0)	0.052 (0.047) (0.005)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	10	0.066	
期中の平均基準価額は、15,885円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年11月21日～2018年11月19日)

公社債

		買付額	売付額	
国内	国債証券	千円	千円	
		536,051	483,662	
外国	アメリカ	千米ドル	千米ドル	
		560	1,018	
	カナダ	千カナダドル	千カナダドル	
		532	384	
	イギリス	千英ポンド	千英ポンド	
		156	27	
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	
		ドイツ	535	229
		イタリア	507	1,593
		フランス	588	450
スペイン		913	600	
国	ポーランド	千ズロチ	千ズロチ	
		1,085	1,803	
	マレーシア	千リンギ	千リンギ	
896		497		
メキシコ	千メキシコペソ	千メキシコペソ		
		2,127	2,098	

*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

*単位未満は切り捨て。

先物取引の種類別取引状況

種類別	買建		売建	
	新規買付額	決済額	新規売付額	決済額
外国債券先物取引	百万円 802	百万円 845	百万円 1,669	百万円 1,662

*単位未満は切り捨て。

*外国の取引金額は、各月末(決算日の属する月については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2017年11月21日～2018年11月19日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	1,069	5	0.5	1,091	11	1.0
為替先物取引	7,580	134	1.8	7,521	85	1.1
為替直物取引	286	86	30.1	379	136	35.9

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社、野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2018年11月19日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	122,000	136,548	22.5	—	15.5	—	6.9
合 計	122,000	136,548	22.5	—	15.5	—	6.9

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘	柄	当 期			末	
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券		%	千円	千円		
国庫債券	利付(2年)第373回	0.1	42,000	42,027	2019/2/15	
国庫債券	利付(30年)第58回	0.8	3,000	2,975	2048/3/20	
国庫債券	利付(20年)第126回	2.0	5,000	6,079	2031/3/20	
国庫債券	利付(20年)第133回	1.8	39,000	46,716	2031/12/20	
国庫債券	利付(20年)第147回	1.6	18,000	21,253	2033/12/20	
国庫債券	利付(20年)第148回	1.5	15,000	17,496	2034/3/20	
合 計			122,000	136,548		

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 100	千米ドル 105	千円 11,847	% 1.9	% —	% 1.9	% —	% —
カナダ	千カナダドル 400	千カナダドル 403	34,586	5.7	—	5.7	—	—
イギリス	千英ポンド 190	千英ポンド 261	37,797	6.2	—	6.2	—	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	610	739	95,094	15.6	—	15.6	—	—
イタリア	640	675	86,917	14.3	—	14.3	—	—
フランス	200	276	35,599	5.9	—	—	5.9	—
スペイン	310	368	47,400	7.8	—	7.8	—	—
ポーランド	千ズロチ 700	千ズロチ 714	21,313	3.5	—	3.5	—	—
シンガポール	千シンガポールドル 100	千シンガポールドル 100	8,244	1.4	—	—	1.4	—
マレーシア	千リングギ 400	千リングギ 394	10,626	1.7	—	—	1.7	—
オーストラリア	千豪ドル 110	千豪ドル 109	9,037	1.5	—	—	1.5	—
合 計	—	—	398,465	65.5	—	55.1	10.4	—

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	%	千米ドル	千米ドル	千円	
			3.625	100	105	11,847	2043/8/15
小 計						11,847	
カナダ	国債証券	CANADIAN GOVERNMENT		千カナダドル	千カナダドル		
			2.5	400	403	34,586	2024/6/1
小 計						34,586	
イギリス	国債証券	UK TREASURY		千英ポンド	千英ポンド		
		UK TREASURY	3.5	120	157	22,716	2045/1/22
		UK TREASURY	4.25	70	104	15,080	2046/12/7
小 計						37,797	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
ドイツ	国債証券	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	—	200	198	25,477	2026/8/15
		BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	0.25	100	100	12,933	2027/2/15
		BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	5.625	110	163	21,019	2028/1/4
		BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	5.5	20	31	4,097	2031/1/4
		BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	2.5	180	245	31,567	2046/8/15
イタリア	国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	4.5	100	107	13,846	2024/3/1
		BUONI POLIENNALI DEL TES	7.25	100	127	16,429	2026/11/1
		BUONI POLIENNALI DEL TES	2.05	250	226	29,107	2027/8/1
		BUONI POLIENNALI DEL TES	5.0	90	103	13,268	2034/8/1
		BUONI POLIENNALI DEL TES	4.75	100	110	14,265	2044/9/1
フランス	国債証券	FRANCE GOVERNMENT O. A. T	8.5	200	276	35,599	2023/4/25
スペイン	国債証券	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	2.15	180	192	24,727	2025/10/31
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	5.15	100	132	16,998	2028/10/31
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	5.15	30	44	5,674	2044/10/31
小 計						265,012	
ポーランド	国債証券	POLAND GOVERNMENT BOND		千ズロチ	千ズロチ		
			3.25	700	714	21,313	2025/7/25
小 計						21,313	
シンガポール	国債証券	SINGAPORE GOVERNMENT		千シンガポールドル	千シンガポールドル		
			2.25	100	100	8,244	2021/6/1
小 計						8,244	
マレーシア	国債証券	MALAYSIAN GOVERNMENT		千リンギ	千リンギ		
			3.418	400	394	10,626	2022/8/15
小 計						10,626	
オーストラリア	国債証券	AUSTRALIAN GOVERNMENT		千豪ドル	千豪ドル		
			2.0	110	109	9,037	2021/12/21
小 計						9,037	
合 計						398,465	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別			当期	
			買建額	売建額
外国	債券先物取引	AU10YR	21	—
		BOBL	—	84
		BUNDS	—	82
		CANADA	—	11
		GILTS	—	35
		SCHATZ	—	14
				百万円

*単位未満は切り捨て。

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2018年11月19日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
公社債	535,014	87.3
コール・ローン等、その他	77,534	12.7
投資信託財産総額	612,548	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産（419,493千円）の投資信託財産総額（612,548千円）に対する比率は68.5%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=112.73円、1カナダドル=85.67円、1英ポンド=144.62円、1スウェーデンクローナ=12.51円、1ユーロ=128.61円、1ズロチ=29.81円、1シンガポールドル=82.09円、1リンギ=26.93円、1豪ドル=82.50円、1メキシコペソ=5.59円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年11月19日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,256,698,088
コール・ローン等	63,465,836
公社債(評価額)	535,014,578
未収入金	645,475,810
未収利息	3,894,012
前払費用	951,648
差入委託証拠金	7,896,204
(B) 負債	648,590,674
未払金	648,590,565
未払利息	109
(C) 純資産総額(A-B)	608,107,414
元本	382,001,018
次期繰越損益金	226,106,396
(D) 受益権総口数	382,001,018口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,919円

(注) 期首元本額は392,318,070円、期中追加設定元本額は64,268円、期中一部解約元本額は10,381,320円、1口当たり純資産額は1,5919円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・世界高格付債券投信S(適格機関投資家専用) 285,561,142円
 ・野村世界高格付債券投信(年2回決算型) 96,439,876円

○損益の状況 (2017年11月21日～2018年11月19日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	11,940,071
受取利息	11,934,029
その他収益金	46,933
支払利息	△ 40,891
(B) 有価証券売買損益	△ 12,774,437
売買益	83,076,727
売買損	△ 95,851,164
(C) 先物取引等取引損益	△ 1,849,568
取引益	7,056,266
取引損	△ 8,905,834
(D) 保管費用等	△ 320,181
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△ 3,004,115
(F) 前期繰越損益金	235,093,459
(G) 追加信託差損益金	35,732
(H) 解約差損益金	△ 6,018,680
(I) 計(E+F+G+H)	226,106,396
次期繰越損益金(I)	226,106,396

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

* 損益の状況の中で(H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。